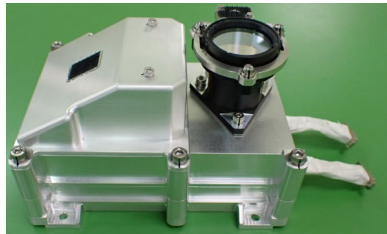


航法カメラ



レーザレンジファインダ (LRF)

小型月着陸実証機(SLIM)の打ち上げ成功

9月7日、小型月着陸実証機(SLIM)を搭載したH-II Aロケット47号機が打ち上げに成功しました。SLIMは、将来の月惑星探査に必要な高精度着陸技術を小型探査機で実証するものであり、「降りたいところに降りる」技術の獲得を主な目的としています。

当社はSLIMに搭載された航法カメラ、レーザレンジファインダ(LRF)、分光カメラ(MBC)を担当しています。航法カメラは、撮影した月面の画像と月面の詳細地図をオンボードで照合して飛行位置を決定し、「ピンポイント着陸」技術の実現に寄与します。LRFは、赤外線レーザーの反射光を受信し、月面からの高度を計測します。航法カメラによる位置推定とLRFによる高度測定を組み合わせ、SLIMの高度・水平位置の補正が行われます。MBCは、月面における太陽の反射光を分光して各波長での光の強さを調べ、「カンラン石」の組成を決定するためのカメラです。

明星電気は、太陽系科学探査における観測装置の高度化に貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



緊急地震速報を説明する当社従業員(中央)

東京都・東村山市合同総合防災訓練に出展

9月3日、令和5年度東京都・東村山市合同総合防災訓練が、東村山市役所周辺の各会場で開催されました。当社も加盟している緊急地震速報利用者協議会の共同事業として、展示・体験等の訓練にQCASTシリーズを出展しました。

今回の訓練は、発災後100年の節目を迎える「関東大震災の教訓」と「防災分野におけるデジタル化(防災DX)」を踏まえ、東京の防災力の更なる向上に寄与する実践的な訓練を実施することとして、「住民等による自助・共助」、「行政および関係機関の連携」を統一テーマに開催されました。新型コロナ5類への引き下げ後、入場制限のない初めての開催となり、来場者も多く、緊急地震速報を理解してもらえる有効な機会となりました。

明星電気は、これからも社会の安全・安心に貢献する製品を開発していきます。

(担当:気象防災事業部)



システムを説明する当社従業員(画面左)

福島県川俣町役場においてPOTEKA説明会実施

9月27日、福島県川俣町役場(以下、川俣町)の職員向けに、POTEKA説明会を2回に分けて実施し、総勢15名の方に参加いただきました。説明会ではPOTEKA NETとMY POTEKAを実際に操作していただきながら、操作方法を中心に紹介しました。

川俣町では2018年にPOTEKAを導入し、防災業務の他に、農業分野や教育関係で気象情報の資料としてPOTEKAのデータが活用されています。今後、川俣町では、住民の方々にも活用いただけるよう、広報を通じてPOTEKAサービスが紹介される予定です。

明星電気は、POTEKAを活用した安全・安心なまちづくりの発展を目指してサービスを展開していきます。

(担当:気象防災事業部)

【文中:敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。